



Imoto Lines

井本商運株式会社

2020年10月1日

鳥取港にコンテナ船が初寄港

9月22日、鳥取港に当社運航船200TEU型船「みかげ」が試験寄港しました。

今回の試験寄港は同港へのコンテナ船寄港の可能性を検証するため鳥取県から依頼を受け実施しました。当社が運航する敦賀港（福井県）-大竹港（広島港）間の既存サービスを活用し、鳥取港と博多港に臨時で寄港して鳥取発の輸出貨物を博多港へ輸送しました。

同港で積み込まれた貨物は40フィートコンテナで紙製品9本、中古農機具2本、中古自動車部品1本の計12本。翌日23日に博多港にて陸揚げされ、外航船社のサービスへ接続、東南アジアや中近東へ輸送されました。

試験寄港ながらも同港における初のコンテナ船寄港ということで、同日岸壁にて初寄港歓迎セレモニーが開催されました。平井伸治鳥取県知事、深澤義彦鳥取市長も出席し、井本社長、門澤船長と共にテープカットを行い、鳥取港への寄港を祝しました。

鳥取港がある鳥取市周辺はトラック輸送の依存度が高く、ドライバー不足や災害時の対応などを考慮し、モーダルシフトや物流の多モード化の観点から同港の利用に期待が高まっています。鳥取市は今回の試験寄港を通じて、継続的な運航に向けた課題を検証し、可能性を探っていくとのこと。当社においても今後もフィーダーと国内物流の両面から日本海定期サービス開拓の検討を続けていきます。

